



上野公園の桜(庄原市)

会報



庄原ロータリークラブ

SHOBARA ROTARY CLUB

2012~2013年度

- 例会 会/火 曜日 12:30 庄原グランドホテル
/夜間例会 19:00 庄原グランドホテル
- 事務局/727-0013 庄原市西本町2-18-8 302号
TEL.0824-72-5500 FAX.0824-72-5500
E-mail:s-rotary@alto.ocn.ne.jp
- 会長/滝川 聖治 ●幹事/田邊 良三

2012年11月27日例会記録

18号(868)

■2012年12月4日のプログラム	クラブ協議会・出席委員会担当
■次回のプログラム	ガバナー公式訪問

ゲスト紹介	RI 第2710地区 G12 ガバナー補佐 安井雅彦様
	米山奨学生 王 丹さん

会長挨拶 滝川会長



「TOPの部下への方針の伝達の仕方」

皆さん今日は、今日はどうすれば会社のTOPの方針や指示が部下に伝わるかをお話いたします。これは私の考えでなく、ある有名な会社のTOPの考えです。参考になれば幸いです。

通常、TOPの思いが部下の3割に伝わるとその会社の経営はうまくいけると言われています。小売業やサービス業では、「顧客目線」という言葉が常套句です。経営者のほとんどは部下に「顧客の気持ちを考えろ」つまり「顧客満足を考えろ」と指導しますが、これと同様に経営者に大切なのが「従業員目線」です。つまり従業員の心情を十分配慮した「伝わる伝え方」が必要です。

経営者は自分のやり方について、朝礼や書面や研修等で伝えたのだから、伝わっていると思いがちですが、実は伝わっていない事が多いものです。

経営者は従業員に「こういう風に動いて欲しい」と思っている、その思いが伝わらなければ決して社員は動きませんし、社員が動かなければ経営者が思い描くような価値を顧客に提供できなくなります。

そこでその社長は、徹底してコミュニケーションの場を設けるようにしました。

まず、自分で頻繁に会議を開き、会議では出来る限り話を部下に振って、意見を求め対等な議論が出来る環境づくりをしました。

又、部下を説得しようとする時、権威を利用しがちですが、社長という立場を持ち出さないようにしました。もし権威に寄りかかって話をすれば、社員はそれに気づき、一人の人間として社員との間の理解が薄れ、組織は動きません。

要は、リーダーシップを発揮するのに上下関係はあまり重要ではありません。大切なのは「従業員目線」です。つまり従業員の立場に立てない経営者がどうして顧客の心を捉えることが出来るかということだそうです。

以上で会長の時間を終わります。

奉仕を通じて平和を

2012~2013年度RI会長
田中作次

幹事報告

1. 本日の配布物・・・①会報No.17号
2. ガバナー事務所より、「職業奉仕を強調したロータリーの認知度向上における広報のあり方」セミナーでの学習のフォローについて
3. 第61回庄原スター式駅伝大会協賛のお礼
4. 例会終了後、事理・役員会がありますので、宜しくお願いいたします。

出席報告

会員数 36名 出席者 32名 MU 2名
欠席者 2名 出席率 94.44%

スマイル報告

安井ガバナー補佐・・・大之木ガバナー公式訪問宜しくお願い致します。
市川会員・・・山内自治振興区の米が、食味コンクール大阪大会で優勝しました。同じく、長野で行われた全国食味コンクールで山内小学校が優勝しました。
木原会員・・・11/23～11/25都城の田舎に帰省して墓参りをしてきました。
竹田会員・・・やっと風邪が治りました。皆さんも風邪にご注意下さい。
豊浦会員・・・今月で前期高齢者を卒業しました。
平田会員・・・現状維持で心穏やかに無理せず風邪に注意してのんびりとして心臓の負担を少なくしてと注意されましたが、もう少し長生きできそうです。心臓手術して5年目を迎えました。

■プログラム

ガバナー補佐訪問

安井ガバナー補佐



フォーラムでは司会を務めさせていただきます。
テーマは
「ロータリーは地域で何が出来るか」ということで
進めさせていただきますので、4名の発表者の方
には、当日どうぞ宜しくお願いいたします。

フォーラム・・・・・・・・・・・・・・・・司会 安井雅彦
ガバナー補佐

テーマ 『ロータリーは地域で何が出来るか』

発表者	社会奉仕委員長	山口三喜雄	“有益な奉仕活動”
	会員増強委員長	竹田則之	“会員増強”
	親睦委員長	和泉 宏	“親睦活動”
	広報委員長	椿 光正	“広報活動”